

フ

オ

ト

。

ト

ピ

ツ

ク

ス



◎「やり直せる社会に賛成です」

今年で61回目を迎える「社会を明るくする運動」(主唱：法務省)の強調月間に合わせて、松原地区推進委員会の決起大会が市役所市民ロビーで行われました(写真)。決起大会には推進委員会を構成する各団体の代表者らが参加しました。決起大会終了後、澤井市長をはじめ参加者らは市内各駅前などに分かれて、ティッシュ配りなどの街頭啓発活動を行いました。(7月1日)

◎連携して広報活動 自衛官募集相談員を委嘱

地元の自衛官に興味のある若者に対する情報提供や自衛隊地方協力本部の広報活動の援助などを行う「自衛官募集相談員」の委嘱式が松原市役所で行われました。委嘱された7人には、中野成典自衛隊大阪地方協力本部長と澤井市長から委嘱状が手渡されました。(6月30日)



◎自分の納得するプレーを

7月28日から東北地方で開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会出場に、府立大塚高校の男子バレーボール部の代表(呑田智希さん・池嶋駿さん)と陸上競技の出場者(森田祐輝さん【400m走】・萬関聡さん【棒高跳び】・高橋花梨さん【走高跳び】)が澤井宏文市長を表敬訪問しました。(7月19日)

◎今年もメダルラッシュ! 74個のメダルを獲得

シロマススポーツクラブ(岡)に通う子どもたち13人が、5月3～5日、兵庫県で開催された「第37回ジュニア体操西宮大会」(主催：関西ジュニア体操クラブ協議会)で優勝など優秀な成績を収め、澤井市長を表敬訪問しました。同クラブの子どもたちは級別(初・中・上級)に分けられた各競技に出場し、団体優勝や個人優勝などをはじめ、計74個のメダルを獲得しました。(6月24日)



◎セーフコミュニティ認証取得に向けて

市ではWHOによるセーフコミュニティ認証取得に向け、活動を行っているところですが、この日、澤井市長が松原警察署を訪れ、朝礼に参加するとともに、この活動への連携と協力を求めました。(7月6日)

◎図書館に“緑のカーテン”

松原図書館では地球温暖化や節電対策として、夏前に植えられたゴーヤが育ち、西側の窓が“緑のカーテン”で覆われています。この取り組みは小・中学校や幼稚園、保育所、体育館や道夢館、図書館や青少年会館などでも実施され、ゴーヤやアサガオなどで涼しげな“緑のカーテン”が作られています。(7月19日)



◎市民プールがオープンしました

夏本番。今年も7月1日から市民プールがオープンしています。この日は市内の幼稚園の子どもたちが訪れ、水遊びを楽しみました。市民プールは8月31日までオープンしていますので、皆様のご利用お待ちしております。(7月8日)

消防団は地域の防災リーダー

消防団は、消防本部や消防署と同様に法律に基づき、市町村に設置された消防機関で、市民の生命や財産を火災から守ることで、風水害や地震などによる災害を防ぎ、また、これらによる被害の軽減のための活動することを任務としています。

消防団員は、自営業や会社員などそれぞれ職業を持ちながら、火災をはじめとする災害への出動や、災害のないときでもそれぞれの仕事を終えた夜間や休日、消防訓練を行ったり、地域で行う訓練の指導に参加するなど、非常時、平時を問わず、地域密着の防災リーダーとして責任感をもって活動しています。

松原市消防団は、市域を六分割しそれぞれの地域に担当する分団を置いています。また、各分団には消防車輦が配備され、地域の防災拠点として重要な役割を担っています。火災が発生すれば、市内各所に設置されている消防団屯所のサイレンにより消防団員を招集し、消火活動や延焼防止などの任務に当たります。

また、地震や集中豪雨による水害、大規模な災害などへの対応も任務の範囲としており、河川の巡視や避難誘導など、多岐にわたって松原市の安全を守っています。

この他にも、毎月10日を防火推進の日と定め、市内を巡回する警戒広報活動を実施し、広く市民に対し防火啓発活動を行っています。

問合せ 消防本部総務課



夜間訓練を行う第5分団